

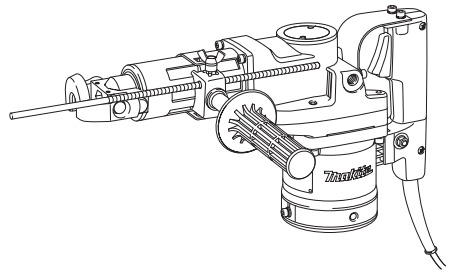
Makita

取扱説明書

38mm ハンマドリル

モデル HR3811

モデル HR3811(P)



本製品はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびはハンマドリルをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ ハンマドリル安全上のご注意	10
・ 各部の名称および標準付属品	13
・ 別販売品のご紹介	14
・ 使い方	19
・ ビットの取り付け・取りはずし方	19
・ サイドグリップについて	20
・ バレル部への取り付け・取りはずし方	20
・ バレル上での位置の変え方	21
・ クランクハウジングへの取り付け	21
・ スイッチの操作	21
・ トルクリミッタ	22
・ 穴あけ方法	22
・ ハツリ・破碎方法	23
・ ストップボール（標準付属品）の使い方	23
・ スポイト（標準付属品）の使い方	23
・ ビット用グリス（別販売品）の使い方	23
・ コアビット（別販売品）の使い方	24
・ 保守・点検について	25
・ カーボンブラシの交換	25
・ グリスの交換	26
・ 本製品のお手入れ	26
・ ご修理の際は	26

主要機能

主要機能	モデル	HR3811	HR3811 (P)
電動機		直巻整流子電動機	
電圧		単相交流 100 V	
電流		12 A	
周波数		50-60 Hz	
消費電力		1,130 W	
最大穿孔能力		超硬ドリル 38 mm コアビット 118 mm	
打撃回数		3,300 min ⁻¹ (回 / 分)	
回転数		270 min ⁻¹ (回転 / 分)	
本製品寸法		長さ 435 mm × 幅 108 mm × 高さ 243 mm	
質量		7.7 kg	
振動 3 軸合成値		17.5 m/s ²	

- 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-6 規格に基づき測定。
- 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA [(社) 日本電機工業会] ウェブサイト : (<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>) をご参照ください。
- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

- | | |
|---|---|
|  警告 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。 |
|  注意 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。 |
|  注 | : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。 |

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときには、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
11. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - ・ けがの原因になります。
12. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠ 警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

 - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深いキズや変形がある。
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スwitchを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- ・ 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

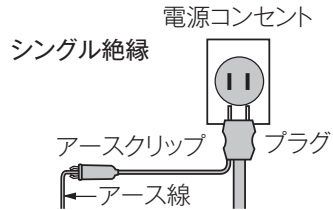
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、ハンマドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

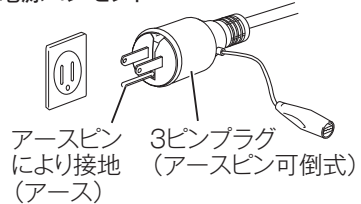
1. 必ず接地（アース）してください。

- ・ 故障や漏電の時、感電する原因になります。
- ・ 接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
- ・ 3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。



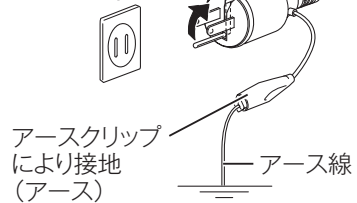
- ・ アース付（3ピン）電源コンセントの場合 3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください（アースクリップによる接地（アース）は不要）。

アース付（3ピン）電源コンセント



- ・ 2極電源コンセントの場合 アースクリップをアース線に接続してください。
- ・ アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
- ・ テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと機械本体の金属（外郭部）間の導通を確認してください。

2極電源コンセント



- ・ アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。
- ・ 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをお奨めします。
- ・ 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。

※労働安全衛生規則 第333条・第334条

電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条

2. アース線をガス管に接続しないでください。

- ・ 爆発の恐れがあります。

3. つなぎコードは、アース中継線を備えた3芯コードを使用してください。

4. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。

⚠ 警告

5. 穴あけ作業中、本体が振り回されることがあります。使用中は、振り回されないようにサイドハンドルを付け本体を両手で確実に保持してください。
6. 使用中は、工具類（ビットなど）や切りくずなどに手や顔などを近づけないでください。
7. 作業中、工具が電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れの恐れがあります。作業前に埋設物がないかどうか十分確認してください。
8. 誤って落したり、ぶつけたときは、ビットなどの工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
9. 使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

1. 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
2. 使用中は、軍手などの巻き込まれる恐れのある手袋をしないでください。
3. 作業時はヘルメット、安全靴を着用してください。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。
5. 作業直後の工具類（ビットなど）、材料、切りくずなどは非常に熱くなっているので、触れないでください。
6. 本体を作動させたまま床などに放置しないでください。
7. 使用前に必ずネジ類にゆるみがないか点検してください。

注

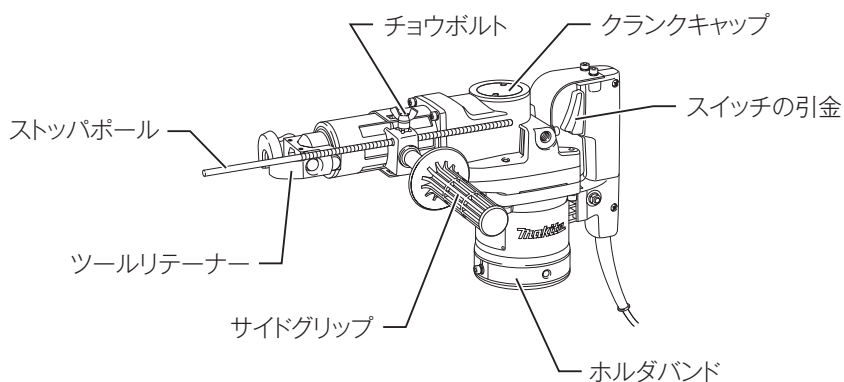
- 気温が低いとき、あるいは長時間使用しなかったときにはグリスが固くなってモータが回転しても打撃しない場合があります。このような場合には数分間空転し、本製品が温まってからご使用ください。
- 電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
0.75 mm ²	20 m	—	—
1.25 mm ²	30 m	15 m	10 m
2.00 mm ²	50 m	30 m	20 m

- つなぎコードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ ストッパポール
- ・ スポイト
- ・ 六角棒レンチ
- ・ プラスチックケース

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

超硬ドリル
六角シャンク



錐径 (mm)	部品番号	全長 (mm)	最大穿孔 深さ (mm)
10	A-00789	280	170
10.5	A-00795		
11	A-00577		
12	A-00804		
12.5	A-34419		
12.7	A-00810		
13	A-30025		
13.5	A-00826		
14.5	A-00848		
16	A-00854		
17	A-00739		
17.5	A-00583		
18	A-05284		
19	A-00608		
20	A-05290		
21.5	A-00599		
22	A-05309		
23	A-30031		
24	A-30047		
25	A-30053		
25.5	A-05315		
28	A-05321		
30	A-30069		
32	A-05337		
35	A-05343		
38	A-05359		

別販売品のご紹介

16	A-21668	505	380
18	A-21674		
19	A-21680		
20	A-21696		
22	A-21705		
25.5	A-21711		
28	A-21727		
32	A-21733		
35	A-21749		
38	A-21755		
22	A-21761	905	800
25.5	A-21777		
28	A-21783		
35	A-21799		


ケミカルアンカアダプタ

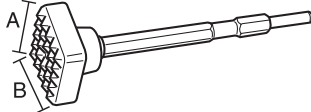


角ドライブ (mm) sq	部品番号
12.7	798331-6
19	798332-4

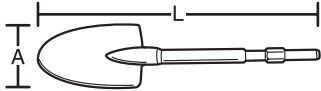
別販売品のご紹介

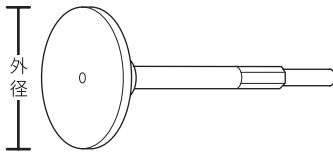
コアビット コンクリートの大径穴あけ用 				センタービット 穴あけ 位置決め用 	アダプタ センタビット・ ロッド含む 	ロッド コアビット・アダ プタ取りはらず用 
錐径 (mm)	部品 番号	全長 (mm)	最大 穿孔 深さ (mm)	部品 番号	部品 番号	部品 番号
25	A-21945	150	200	752045-1	A-22056 (六角シャンク)	256806-6
30	A-21951					
35	A-21967					
40	A-21973					
45	A-21995					
54	A-22006	315	752027-3	A-22078 (六角シャンク)	256815-5	
65	A-22012					
79	A-22028					
105	A-22034					
118	A-22040					

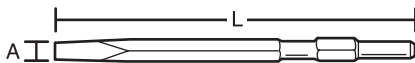
アース棒アダプタ ハンマドリル、電動ハンマの先端に取り付けてアース棒を地中に打ち込むための工具です。 	
アース棒サイズ	部品番号
W3/4 (6分) まで可能	A-21509

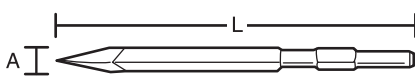
ビシャン 面荒らし用 		部品番号
寸法 (mm)		
A	B	A-21484
67	67	

別販売品のご紹介

スコップ 土掘用		
寸法 (mm)		部品番号
A	L	
105	400	A-25214
105	405	A-05119

ランマ 地固め用		
外径 (mm)		部品番号
140		A-21428

コールドチゼル 溝切り、角出し、切削用		
寸法 (mm)		部品番号
A	L	
19	280	A-21331
	450	A-21347

ブルポイント ハツリ、破碎用		
寸法 (mm)		部品番号
A	L	
17	280	A-14489
	280	A-01769
	360	A-06943
	450	A-21244

別販売品のご紹介

プラグ内装用アンカ打込棒 	めねじ径	部品番号
	W1/4 (2分)	765016-9
	W5/16 (2分半)	765017-7
	W3/8 (3分)	765018-5
	W1/2 (4分)	765019-3

プラグ外装用アンカ打込棒 	めねじ径	部品番号
	W1/4 (2分)	765014-3
W5/16 (2分半)	765015-1	

スケーリングチゼル 溝つき用		
寸法 (mm)		
A	L	
50	280	A-25161

グルーピングチゼル 溝つき用		
寸法 (mm)		
A	L	
22	280	A-25149
26		A-25155

- ・ ホルダドライバ (アンカ No.3、No.4 打込み用当て工具)
部品番号 : A-44650
- ・ ハンマ用グリス (30 g 入)
部品番号 : A-42999
- ・ ビット用グリス (100 g 入)
部品番号 : A-43000
- ・ ロックナットレンチ 35
部品番号 : 782407-9



使い方

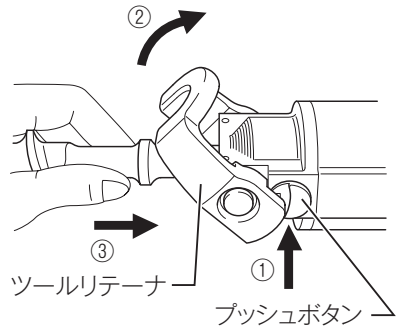
ビットの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ビットの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

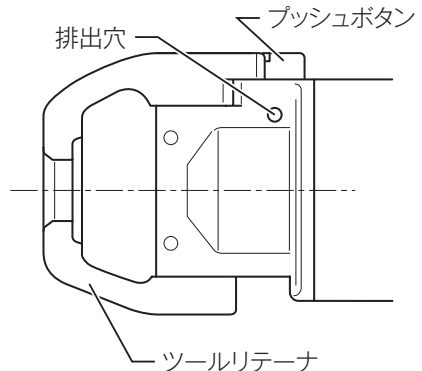
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

- ・ ビットをきれいに拭き、ビット用グリスを塗布します。
- ・ プッシュボタンをしっかりと押しながら (①) ツールリテーナを矢印の方向へ上げます (②)。
- ・ ビットを六角穴の奥まで差し込みます (③)。
- ・ ツールリテーナをもとに戻して、ビットが抜けないようにします。
- ・ ビットの取り付け後はツールリテーナを必ず元の位置に戻し、ビットが脱落しないことを確認してください。



注

- ・ プッシュボタンの動きが悪い場合は、排出穴より針金などで内部のゴミを除去してください。その後、お手持ちの潤滑油を注油してプッシュボタンを数回押しすと、動きが良くなります。



使い方

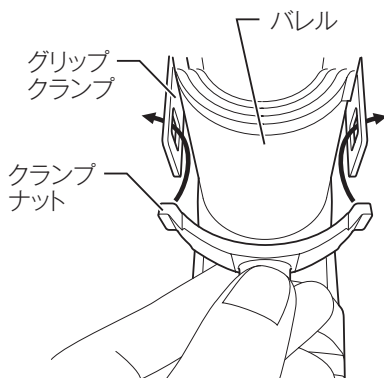
サイドグリップについて

⚠ 警告

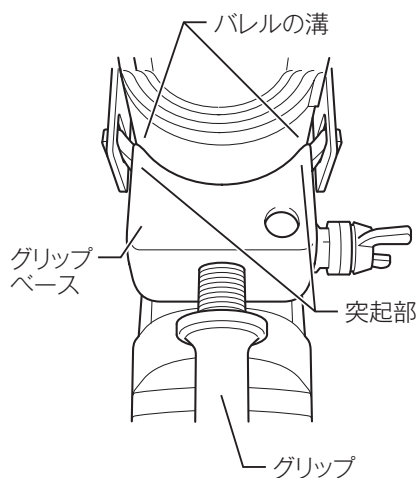
サイドグリップの位置を変更する場合は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

バレル部への取り付け・取りはずし方

- ・ グリップクランプの穴にクランプナットを片側ずつ通します。



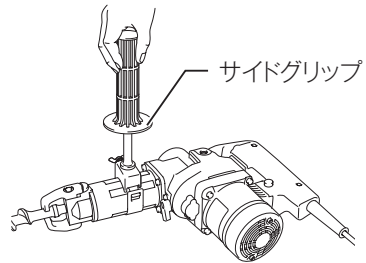
- ・ グリップベースの穴にグリップのネジ部を通しクランプナットを締め付けます。このとき、グリップベースの突起部がバレルの溝にはまる位置でグリップを締め付けてください。



使い方

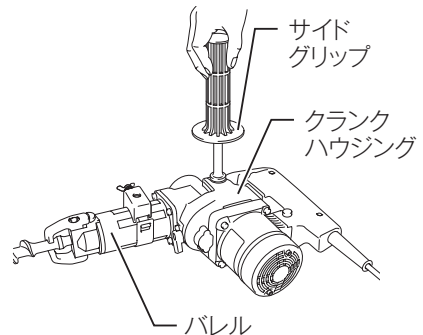
バレル上での位置の変え方

- ・ サイドグリップを左に回すとゆるみますので、作業のしやすい位置にしっかり固定してください。



クランクハウジングへの取り付け

- ・ サイドグリップをバレルから取りはずしてクランクハウジングにねじ込んでお使いになることもできます。この場合、サイドグリップは左右どちら側にも取り付けることができます。



スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。
- ・ スイッチは引金を引くと入り、放すと切れます。

注

- ・ 起動時には反力が起こりますので本製品をしっかり保持してください。

使い方

トルクリミッタ

- ・ ビットに所定のトルクがかかると、トルクリミッタが作動し、ビットにモータの回転が伝わらない構造になっています。

注

- ・ トルクリミッタが作動したときは、作動時間を2秒以内にとどめてください。

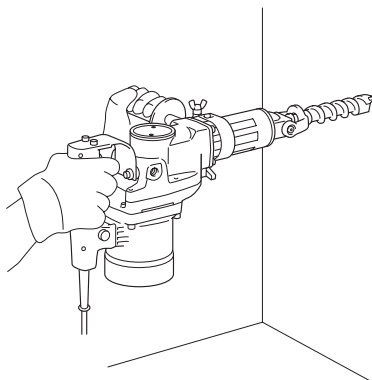
穴あけ方法

⚠ 警告

コンクリート壁の貫通時や鉄筋などに刃先が接触した場合に、本製品が反動で回ることがありますので、サイドグリップをしっかりと固定し本製品を両手で確実に保持してください。

- ・ 確実に保持していないと、事故の原因になります。

- ・ 穴あけ位置にドリルビットの先端を当ててからスイッチの引金を引きます。
- ・ 本製品が浮き上がらない程度に軽く押し付けて作業してください。無理に押さえつけても作業能率は上がりません。
- ・ 深い穴で粉じんがつまりやすいときは、超硬ドリルを回転させながら大きく前後させ粉じんを排出させてください。



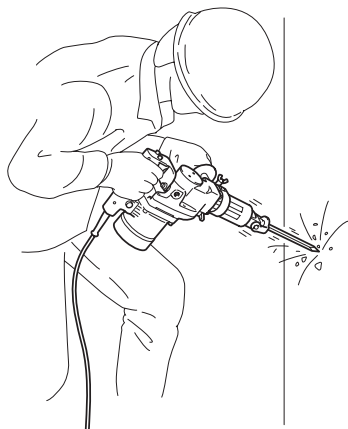
注

- ・ 本製品を無理に押し付けても決して穴は速くあきません。本製品が浮き上がらない程度に軽く押さえつけて作業してください。

使い方

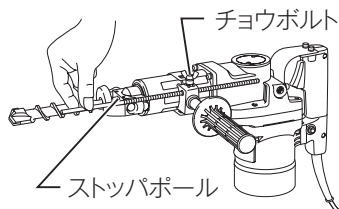
ハツリ・破碎方法

- ・ ハツリ・破碎は本製品の自重を利用して行ってください。無理に押さえたり、突きさしたりしても作業能率はあがりません。



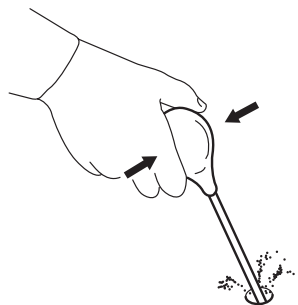
ストッパポール（標準付属品）の使い方

- ・ 同じ深さの穴をたくさんあけたいときにお使いになると便利です。ストッパポールは、サイドグリップベースについているチョウボルトによって調節できます。



スポイト（標準付属品）の使い方

- ・ 穴あけ後、穴の中に残った粉じんを取り除くときに使用してください。



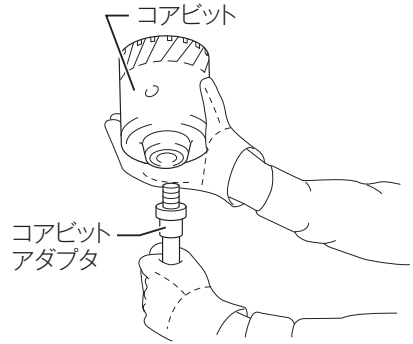
ビット用グリス（別販売品）の使い方

- ・ ビットの取り付け部にビット用グリスを少量（0.5～1 g 程度）塗ってください。シャンク部の潤滑が向上し、寿命が長くなります。

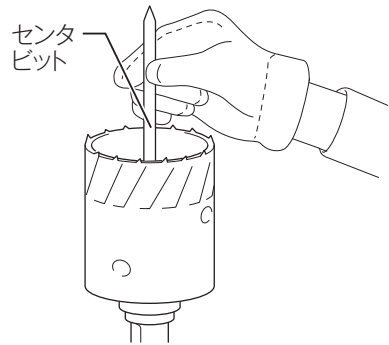
使い方

コアビット（別販売品）の使い方

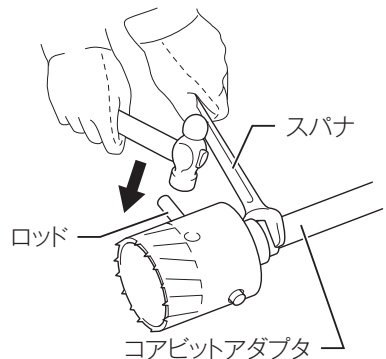
- ・ コアビットアダプタにコアビットを取り付けます。
- ・ ビットの取り付け同様コアビットアダプタを本製品に取り付けます。
- ・ センタビットを取り付けます。



- ・ センタビットを穴あけの中心にあててスイッチを入れ、コアビットで案内溝ができましたら、センタビットを取りはずして穴あけしてください。



- ・ コアビットの取りはずし方は、コアビットアダプタの2面幅をスパナなどでつかんで固定し、コアビットの穴にロッドを挿入し、左回りの方向へハンマでたたいて取りはずしてください。



注

- ・ 案内溝をつくる時にコアビットのネジがゆるむことがあります。短時間であり締め勝手のため支障ありません。

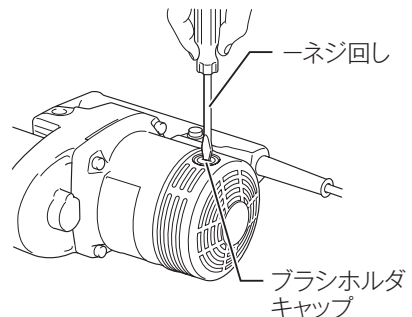
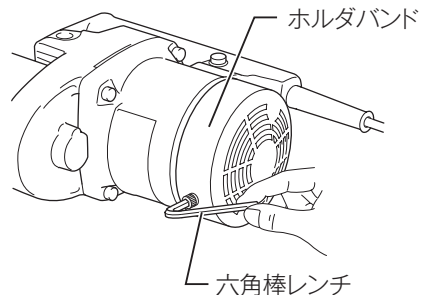
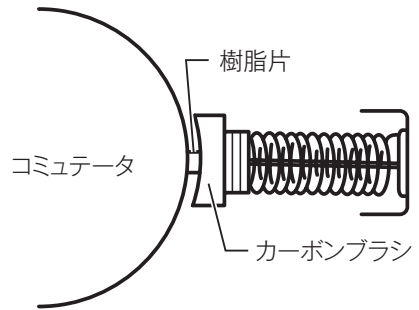
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

カーボンブラシの交換

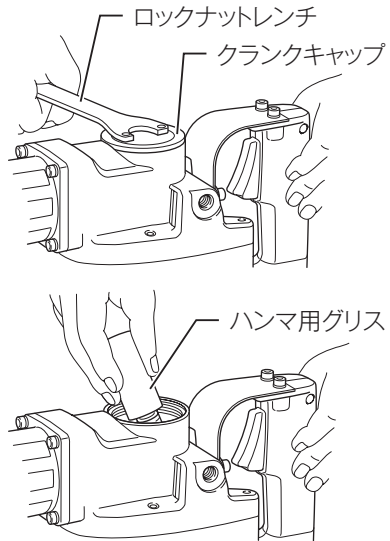
- ・ 本製品はカーボンブラシが使用限界まで摩耗すると樹脂片が飛び出してコミュテータに当たり、自動的に本製品を止めるしゃ断カーボンブラシを採用しています。本製品が停止したら、カーボンブラシを新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ・ ホルダバンドを固定している六角穴付ボルトを、六角棒レンチでゆるめて取りはずし、ホルダバンドを取りはずしてください。
- ・ ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。



保守・点検について

グリスの交換

- ・ 本製品はグリス密封式のため常時補給する必要はありませんが、グリス交換はカーボンブラシ交換のときに行ってください。
- ・ グリス交換は数分間空運転し本製品をあたためてから、クランクキャップをロックナットレンチで左へ回してゆるめ、キャップをはずし本製品を上に向けてグリスをクランク室に溜めてから布で拭き取り、グリス（マキタハンマ用グリス 60 g）を入れてください。このとき、グリスを規定量（60 g）以上入れますと、打撃不良などの故障の原因になりますので、必ず規定量にとどめ、入れ過ぎないようにしてください。



注

- ・ キャップを締め付けるときは、キャップが樹脂ですので、締めすぎないように注意してください。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

88119604
IWT

株式会社 マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)